

# 平成27年度 事業報告書

平成27年 6月 1日から平成28年 5月31日まで

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

## 1. 事業の成果

### (1) 大会開催に関する事業

#### ●第19回全日本聴覚障害スキー技術選手権大会

下見を2回行い、長野県：よませ温泉スキー場で開催した。雪不足のため前日までは滑走距離不足、危険箇所も多くあったが、スキー場協力で当日朝には十分なバーンが用意された。選手23名とコンパクトな分デングが良く進み、北志賀スキースクール講師2名（宮津裕朋氏、宮津真美氏）のデモンストレーションを楽しんだ。採点誤集計があり関係者全員にお詫びを発送をし、再発防止に向けた運営手順見直しと再確認をした。

### (2) スキー指導に関する事業

#### ●ろう学校スキー教室、ろう団体への講師派遣

大阪府：耳のきこえない親の子育て団体「さくらんぼ」昨年実績\*が評価され2回目、親子11組が参加。

\*平成26年度総会/分科会で活動報告があったが報告書記載漏れ。依頼は初めて。

鳥取県：鳥取聾学校ひまわり分校

平成25年度より隔年開催。

岡山県：岡山聾学校

学校側の行事都合、明晴在籍生のわんぱく参加が難しかったが

東京都：私立ろう学校「明晴学園」

学校主催スキー教室相談を受け初の講師派遣となる。

#### ●第9回デフわんぱくスキースノーボード教室

東京デフスキークラブから9名、デフリンピック選手・メダリスト含む日本ろう者スキー協会から7名、他複数クラブから数名の講師派遣を受けた。同日程開催の西日本ブロック講習会が雪不足で中止になったため、講師2名が大阪から急きょ参加した。東京都スキー連盟ジュニア育成助成14万円を受け、主に、講師派遣料（宿泊負担）、バッジテスト運営費として使用した。デフリンピック選手個人スポンサー「チェリオ」からドリンク900本提供があった。暖冬雪不足のため滑走エリアは充分ではなかったが、怪我なく無事に終えた。

#### ●第12回西日本ブロックスキー講習会 雪不足のため中止

### (3) 聴覚障害者へのスキー啓発・広報の活動

第19回全日本聴覚障害スキー技術選大会、第9回デフわんぱくスキー・スノーボード教室の2行事で、一般財団法人全日本ろうあ連盟の後援を受け、ろうあ連盟機関紙「日本聴力障害新聞（日聴紙・季刊みみ）」に、両行事無料掲載をした。総会・分科会では、お互いの良いところを積極的に取り入れる手法で活動報告と情報交換をした。

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
スキー指導に関する事業	第9回デフわんぱくスキー教室	1月9日～1月11日	長野県菅平高原スキー場	34名	聴覚障害児 62名 同泊選手等 12名	3,358
同上	第12回西日本ブロックスキー講習会(兼デフわんぱくスキー教室)	1月9日～1月11日	石川県一里野温泉スキー場	0名	雪不足のため中止	0
同上	鳥取聾学校ひまわり分校スキー教室派遣	1月22日	鳥取県大山ホワイトトリゾートスキー場	3名	鳥取聾学校ひまわり分校小中学部生徒10名	0
同上	岡山県立岡山聾学校高等部スキー教室	1月28日～1月29日	鳥取県だいせんホワイトリゾートスキー場	3名	岡山ろう学校高等部 8名	0
同上	明晴学園中等部スキー教室	2月1日～2月2日	長野県白樺高原スキー場	2名	明晴学園中等部10名	0
大会開催に関する事業	第18回全日本聴覚障害スキー技術選手権大会	2月20日～2月22日	長野県よませ温泉スキー場	9名	全国の聴覚障害者の45名	195
スキー指導に関する事業	大阪府耳のきこえない親の子育て団体さくらんぼ団体	2月27日～2月28日	兵庫県アツ神鍋スキー場	3名	幼児・保護者53名	0
聴覚障害者へのスキー啓発・広報	定期総会開催	7月4日～7月5日	滋賀県長浜市	6名	会員友人家族32名	492